



▲パトロールに出発する青パト会員

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
 電話：74-0212 FAX：74-0105
 E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

日野町防犯パトロール 第11号

平成18年に発足した日野町地域防犯・生活安全パトロール協議会（通称：青パト）も今年で11年目を迎えました。子どもの誘拐、殺人事件、高齢者を狙った詐欺など、さまざまな犯罪から町民を守るため、日々町内をパトロールしています。現在、25人の会員がボランティアで活動しています。これからも皆様のご支援、ご協力をお願いします。

地域の子どもは地域で見守り育てよう

日野町青少年育成会 会長 長尾 克正

（青少年育成鳥取県民会議 青少年育成推進指導員
 日野町地域防犯・生活安全パトロール協議会会員）

毎月1回の地域防犯パトロール活動と学校の登校日は、ほぼ毎日交通安全指導を実施しています。

急速に進む高齢化・少子化と人口減少による社会構造の変化など、過去に経験したことのない社会の変化を迎えています。子どもたちを取り巻く環境も激変し日々悪化してきています。

このような状況下におきまして、地域の安全を守り安心して暮らしていける取り組みが一層重要となつてきます。子どもたちもパトロールを通して安心して通学できる環境を肌で感じていると思います。将来を担う子どもたち

の成長を見守っていきましょう。

私たちも、夜間のパトロールやマナーアップ作戦など、地域防犯活動に継続して取り組んでいます。また、「大人が変われば子どもも変わる運動」も推進しています。「あの子も、この子ども地域の宝、ひと声かけて育てよう」のスローガンの下に、良いこと、悪いことを教えられる大人に、大人自身が姿勢を正し、子どもたちに積極的に声をかけていくものです。

今後も、各団体の取り組みと一人一人の行動に感謝しながら、安全・安心なまちになるよう活動してまいります。

青パト会員募集中

町地域防犯・生活安全パトロール協議会（通称：青パト）では、パトロール活動に参加していただける会員を募集しています。不審者による事件を未然に防ぎ、明るい笑顔あふれるまちをつくりましょう。

会員になっていただける人は、協議会事務局（町公民館74-0212）までご連絡ください。

【活動日（巡回パトロール）】

▼根雨地区：週2回（月・木曜日）▼黒坂地区：週1回（水曜日）

作って楽しい！出来てうれしい！

▶町公民館ワークショップ開催

6月28日、町公民館でワークショップ「フラワーボールをつくってみよう」を開きました。3色の色画用紙を花びらの形に切って、丸く組み合わせることで作ります。ちょっとした頭の体操になるので認知症予防にも効果的かも。参加した皆さんは、慣れない作業に苦戦しながらも、できあがると「かわいいー」と笑顔がこぼれ、和やかな雰囲気に包まれました。



▲「できた〜」

▼どれも力作ぞろいです！



奥日野の自然に癒やされた文豪を思う

▼第3回おしどり学園開催



奥日野の自然が作家に影響を与えたと解説

7月15日、おしどり学園を開きました。

今回は、「奥日野ゆかりの文豪井上靖」と題して、日南町にある野分の会の山本憲一さんの講演を聞きま

した。戦後日本を代表する芥川賞作家、井上靖は昭和20年に大阪から日南町神福（当時の福栄村）に家族を疎開させました。そして、井上靖が家族の疎開先である福栄を訪れた際、その自然に魅了されたのです。当時、激しい空襲下にあった大阪での日々の疲れを、福栄の美しい風光の中で過ごすことで癒やすことができました。空気もおいしく、夜空に散らばった星の光も美しく、天の植民



六角形の建物「井上靖記念館 野分の館」

地にでもいる思いだったそうです。

福栄村は、小説「通夜の客」の舞台になり、福栄から受けたさまざまな印象は、そのまま小説の中に盛り込まれています。日南町神福地区には、「通夜の客」に出てくる屋号が各戸に看板として設置されており、同地区の見どころの一つとなっています。また、山本さんは、「駱駝の瘤」と言われる小さな峠や福栄神社などに当時の様子がかげえることや、井上靖の文学碑、原稿や著書などを展示した記念館「野分の館」の紹介も行いました。学園生は、奥日野の自然に魅了された文豪を思い、聞き入っていました。

町公民館耐震工事のお知らせ

町公民館は、皆さんに安心して利用いただけるよう、次の日程で耐震工事を行います。そのため、期間中、公民館の使用を一部制限させていただきます。

▼工事名 日野町公民館耐震補強工事

▼工事内容 1階図書室・会議室（和室）から2階講堂へ耐震壁の設置

▼公民館の使用に制限がかかる期間

9月10日（土）～10月20日（木）

ご不便をおかけしますが、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第37回

「ひら」

日野町榎市集落に「平」という地区があるのをご存知ですか？名前から平地を想像しますが、実際は緩やかな傾斜地です。なぜこんな地名が付いたのでしょうか？
どうやら昔の日本人は、「坂」や「斜面」のことを「ひら」と呼んでいたらしいのです。さらに、沖繩の言葉では、上り坂を「ひら」、下り坂を「さか」と言うとか。
そして、古事記に登場するのが「黄泉比良坂」。上り下りの激しい坂だったのか、そんなことを想像するのもロマンがありますね。

日野弁ピックアップ「ひ」

ひいごのご…ツバメの子。 ひいさ…長時間/久しく。
ひざぬり…12月1日の民俗行事。「師走の川に流れんように」と唱え、膝や脛に餅あんを塗り、家族の健康を祈った。
ひしなべる…ひからびる。 びしゃこ…びしょ濡れ。
ひたえぐち…額/おでこ。 ひだるい…ひもじい。
ひっきんぼ…ガマガエル。 ひでらしい…まぶしい。
ひよおげる…おどける・ふざける。 ひらめ…ヤマメ。
ひる…乾く。 ひるたばこ…昼休憩/昼食。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会